

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに、その平均正答率は全国を下回り、課題が見られます。
- ・国語の領域別では、「書くこと」については、自分の考えが伝わるように文章全体の構成を考えたり、書き表し方を工夫したりすることに、「読むこと」については、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することに課題がありました。そのような中で「言葉の特徴や使い方に関する事項」の漢字の書きについては全国平均を上回り、日頃からの継続した取組の成果が見られます。
- ・算数の領域別では、「変化と関係」について、速さと道のりと時間の関係をつかんで解く問題や、「図形」について、図形の見方を変えて面積を解く問題に課題がありました。そのような中で、「あまりのあるわり算」や「時刻と時間」等、下学年から積み重ねて学習してきた問題については全国平均を上回り、一定の成果が見られます。
- ・国語、算数ともに全国と比べて無回答率が低く、問題に対して粘り強く取り組むことができています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
多くの項目においてよい傾向が見られます。特に「学校に行くのは楽しい」「いじめはどんな理由があってもいけない」「自分にはよいところがある」等について高い数値を示しています。朝食を必ず食べたり、起床と就寝の時刻が決まっていたりするなど、規則正しい生活を送っていることがわかります。
- ・課題となる項目
全国と同様に「平日にコンピュータやスマートフォンを使ったゲーム等を2時間以上している」と回答した児童の割合が高いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・難しくても最後まで粘り強く取り組むというよさを認め、引き続き児童の自尊感情を高めていきます。
- ・国語は言うまでもなく、他教科、領域の学習でも、伝えたいことの中心は何かということを意識して読んだり、書いたりさせるように授業改善に努めます。何のためにという目的意識をもたせ、自分事として考える機会を増やします。
- ・学習内容の確実な理解と定着が図れるように、ドリル学習に加えて、ICT機器を使って友達と学び合ったり自分に問い続けたりしていく、対話的で深い学びを仕組みます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・学校から呼びかけている「学年×10+10分」という家庭学習の目標時間のとおりに、学習に取り組んできていることを褒めてあげてください。さらに、ゲームや動画視聴に費やしていた時間を、自主学習などの発展的な学習に取り組む時間に少しずつ移行できるように、ご支援ください。
- ・ICT機器を使う学習が増えることに備え、利用上のルールや情報モラルが守れるように、家庭で話し合ったり、利用上の約束を守れているか確認したりする時間を作ってください。